

(様式2)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番 号	2	学校名	宇都宮市立 陽北中 学校
-----	-----------------	----------	---	-----	--------------

令和7年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 国・県・市の学力調査などから

① 1年生（通年の定期テストより）

○1学期期末テストの5教科平均点合計が336.5点、2学期中間テストでは310.9点、学年末テストでは323.1点、年間を通して大きな変化はなかった。

○国語・理科においては、年間を通して得点分布に大きな変化は見られなかった。理科においては、分布の最頻値が上位にあることが多かった。

△社会・数学では学期が進むにつれ、得点分布に二極化の傾向が顕著になってきた。

△英語については、得点分布の最頻値が上位から中位へと変化する傾向が見られた。

② 2年生（とちぎっ子学習状況調査より）

○すべての教科において、市平均正答率を上回った。特に、国語科では5.7ポイント、社会科では6.9ポイント、数学科では5.3ポイントと大きく上回った。

③ 3年生（宇都宮市学習内容定着度調査より）

○国語・社会・数学・理科では、市平均正答率を1.1～3.5ポイント上回った。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

① 1学年（宇都宮市「学習と生活についてのアンケート」より）

○「勉強が好きですか」についての本校肯定割合は46.3%であり市肯定割合を5.0ポイント上回った。

・「次の教科などの学習は好きですか」についての本校肯定割合は、市肯定割合より

○数学・理科・音楽・英語でそれぞれ7.0、17.3、5.8、8.9ポイント上回った。

●美術・保健体育・総合的な学習の時間でそれぞれ10.2、8.0、8.3ポイント下回った。

・「次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか」本校肯定割合は、市肯定割合より

○理科で5.4ポイント上回った。

●美術で6.5ポイント下回った。

○「平日の学習時間が1時間以上」についての本校割合は76.2%であり、市割合を7.3ポイント上回った。

△「土・日など学校が休みの日の学習時間が1時間以上」についての本校割合は67.3%であり、市割合とほぼ同数である。

② 2年生（宇都宮市「学習と生活についてのアンケート」より）

○「勉強が好きですか」についての本校肯定割合は48.6%であり市肯定割合を11.3

ポイント上回った。

○「学校の授業がどの程度分かりますか」についての本校肯定割合は 86.5%であり市肯定割合を 7.4ポイント上回った。

・「次の教科などの学習は好きですか」についての本校肯定割合は、市肯定割合より

○国語・社会・数学 17.4、10.2、5.4ポイント上回った。

●理科・美術・保健体育・英語でそれぞれ 11.1、19.1、10.9、5.5ポイント下回った。

・「次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか」についての本校肯定割合は、市肯定割合より

○社会・数学・保健体育でそれぞれ 5.8、5.3、5.2ポイント上回った。

●美術で 8.5ポイント下回った。

○「平日の学習時間が 1 時間以上」についての本校割合は 83.1%であり、市割合を 15.4ポイント上回った。

○「土・日など学校が休みの日の学習時間が 1 時間以上」についての本校割合は 82.4%であり、市割合を 18.9ポイント上回った。

○「いろいろな種類の本を読むことは、楽しい」についての本校肯定割合は 75.0%であり、市肯定割合を 6.1ポイント上回った。

③ 3 年生

・「次の教科などの学習は好きですか」についての本校肯定割合は、市肯定割合より

○数学・音楽で 7.2、6.6ポイント上回った。

●美術・技術・家庭・英語・道徳でそれぞれ 10.4、7.2、6.0、6.2ポイント下回った。

・「次の教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか」についての本校肯定割合は、市肯定割合より

○数学で 8.1ポイント上回った。

●美術で 8.9ポイント下回った。

△「平日の学習時間が 1 時間以上」についての本校割合は 90.6%であり、市割合とほぼ同数である。

△「土・日など学校が休みの日の学習時間が 1 時間以上」についての本校割合は 91.9%であり、市割合とほぼ同数である。

(3) 授業等への取組状況から

① 1 年生

○「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している」についての本校肯定割合は 62.6%であり市肯定割合を 6.4ポイント上回った。

○「インターネットやパソコンを利用して、学習に関する情報を得ている」についての本校肯定割合は 85.7%であり市肯定割合を 5.1ポイント上回った。

○「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」についての本校肯定割合は 62.6%であり市肯定割合を 6.1ポイント上回った。

●「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」についての本校肯定割合は 73.5%であり市肯定割合を 8.1ポイント下回った。

●「学習して、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれし

い」についての本校肯定割合は 86.4%であり市肯定割合を 5.7ポイント下回った。

② 2年生

- 「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」についての本校肯定割合は 72.3%であり市肯定割合を 6.4ポイント上回った。
- 「授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている」についての本校肯定割合は 77.7%であり市肯定割合を 7.2ポイント上回った。
- 「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している」についての本校肯定割合は市肯定割合を 8.7ポイント上回った。
- 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」についての本校肯定割合は 63.5%であり市肯定割合を 5.8ポイント上回った。
- 「学校から、家庭学習に必要な教科書などの学習用具を持ち帰っている」についての本校肯定割合は 88.5%であり市肯定割合を 6.0ポイント上回った。
- 「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」についての本校肯定割合は 40.5%であり市肯定割合を 8.6ポイント上回った。
- 「テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している」についての本校肯定割合は 73.6%であり市肯定割合を 8.4ポイント上回った。
- 「前の日のうちに、次の日の学校の用意をしている」についての本校肯定割合は 78.4%であり市肯定割合を 6.4ポイント上回った。

③ 3年生

- 「授業で習ったことを、自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている」についての本校肯定割合は 66.4%であり市肯定割合を 5.4ポイント下回った。
- 「宿題はきちんとやり、期限までに提出している」についての本校肯定割合は 73.8%であり市肯定割合を 8.8ポイント下回った。

2 今年度の重点目標

「学習の基盤となる態度や家庭学習（自主学習）習慣の育成と、対話的で深い学びを通じた思考・判断・表現力の向上」

3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進後期計画」に関連する取組は文頭に★、「令和7年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

(1) ★□「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 生徒の実態に即した授業展開に努め、「わかる授業」を展開する。
 - ・基礎的、基本的な内容を確実に身に付けさせるための指導を工夫する。
- ★□○生徒の実態に応じた「書くこと」への取り組みを「宇都宮モデル」に位置づけながら行い、「書くこと」の指導の充実を図る。
- 単元を見通した授業をデザインした上で、「ねらい」を明確にして実施しながら指導の充実を図るとともに、評価方法を改善し、指導と評価を一体化させる工夫をする。

○客観的かつ多面的に「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための工夫に取り組む。

➤自己評価だけでなく他者評価（教師や生徒）を取り入れ、多角的な視点からのフィードバックを行う

➤学習態度を評価するための具体的な基準（ルーブリック）の設定

➤ポートフォリオ（作品やレポート、自己評価の記録）の作成

➤ピア評価（生徒同士が互いに評価し合う機会を設ける→新たな気づきや成長を促す）

★○協働学習支援ツール「school Takt」等を活用し、共同閲覧や共同編集等の機能を用いて生徒の多様な考えの交流や学び合いによる「協働的な学び」の充実を図る。

★教科等横断的な視点を持ち、相互に関連する学習内容の理解を深め、生活上の課題解決に取り組むことのできる指導を工夫する。

(2) ★□G I G Aスクール構想やI C T機器を活用した魅力的な授業展開の工夫

○全ての教員が1人1台端末を活用できるよう更なる指導力の向上に努めるとともに、デジタルを効果的に活用した学習活動の充実を図る。

・AI型学習ドリルなどの学習履歴を活用した学習支援の充実を図る。

(3) ★□宇都宮学の推進

・本市及び陽北地域のよさの気付きと課題解決学習への関連を図る

・「百人一首」に親しむ学習の推進を図る。

(4) ★□かがやきルーム指導員の有効活用

・かがやきルームにおける教科指導の工夫と充実を図る。

・通常学級での個に応じた指導と連携を図る。

(5) ★□各種学習状況調査等の分析と有効活用

・全国、県、市の学力調査の結果などを活用したPDCAサイクルを構築する。

(6) ★□家庭との連携による学習習慣の確立

・家庭学習の実施による家庭学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。

・家庭学習の内容・実施状況の、具体的な実施方法の提示・例示する。

・学校だより、学年だより、学習だより、ホームページ等において、学習と生活に関する実態に基づく改善や取組についての理解と協力を仰ぐ。

・年度初めの「シラバス」提示(配布)による、保護者、生徒に対しての各教科の取組についての理解と協力を仰ぐ。